



新潟大学広報誌

新大広報

Niigata University Campus Magazine

2006年春号

No.160

新潟大学へ

ようこそ

キャンパスガイド

おすすめ講義 PICK UP

健康コラム

四季の健康保健管理

CAMPUS INFORMATION

黎明祭

キャンパス周辺MAP

Campus guide

キャンパスガイド

Ikarashi campus

五十嵐キャンパス

- 学部・研究科
- 教育研究施設・事務局
- 福利厚生施設等



工学部の石碑
日頃は気づかないまま通り過ぎてしまします。

春の日差しを浴びながら
キャンパス内を
歩いてはいかがでしょう。



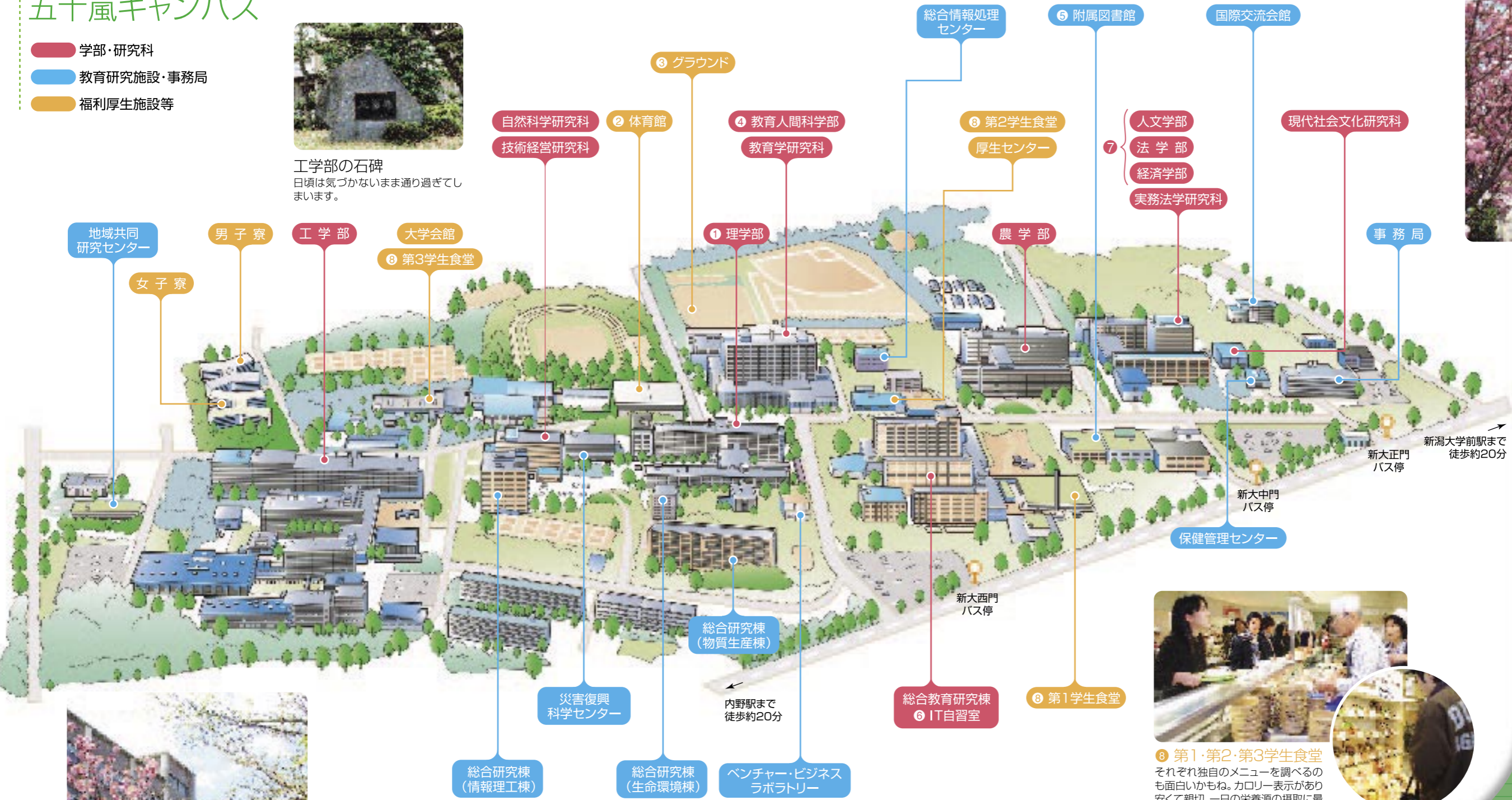
冬、キャンパス内で見ることができます。
それには、日頃の洞察力が必要です。



この像の名前とこの人を知っていますか。
キャンパス内を探索するのも楽しいです。きっと新たな発見があるでしょう。



歴史を感じる建物。取り囲んでいる
蔭が四季を知らせてくれることで
しょう。



第1・第2・第3学生食堂
それぞれ独自のメニューを調べるのも面白いかもね。カロリー表示があり安くて親切、一日の栄養源の摂取に最適でしょう。



1 理学部棟
五十嵐キャンパスのほぼ中央に位置します。



2 体育館
真剣なのは勉学だけではありません。



3 グラウンド
部活動が花盛り、頭と体両方鍛えましょう。



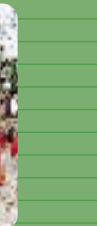
4 教育人間科学部
授業風景、作品製作。



5 附属図書館
静かに自分の時間を過ごすならば最適な場所でしょう。



6 IT自習室
空いた時間に自由に使用可能です。



第1学生食堂前
黎明祭、新大祭のメイン会場となる広場。

おすすめ講義 PICK UP

新しい年度のスタート。どんな講義を履修すればいいか迷っている新入生のみなさん。
専門分野だけでなく、もっとレベルアップを目指したい学生のみなさん。
数多くある講義の中から教育褒賞制度^(*)で選ばれた4つの講義を紹介します。

生物学—動物A

01

理学部 教授
渡辺 勇一

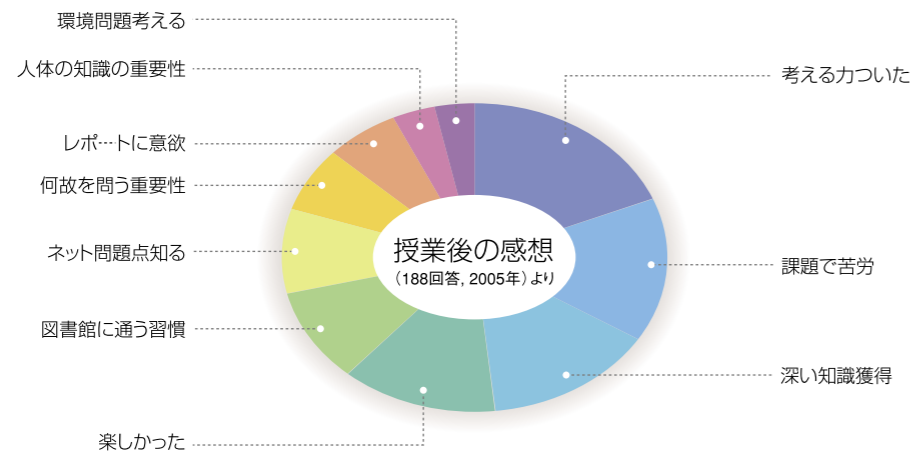


大学にまた新しい学生を迎える季節がきた。古い話だが、私が昔憧れの大学に入学した時には、高校と違った授業がこれから始まるという期待を大きく持って、4月の大学生活を始めたものだった。しかし、学生による授業評価もなく、呑気に行われていた昔の大学の授業の大部分は、期待はずれだった。このような期待外れの授業と全く「違った授業」を何とか作れないか、という思いを出発点にして、私の授業は作られた。

一言で言えば、私の講義は学生が安心して教員の名調子の講義を毎回受けるものではなく、学生は事前の努力なしには単位が取れない方式になっている。教員の高い講義能力を期待して入学してきた学生には肩すかしの内容であるかも知れない。しかし私には、数十年の私自身の勉学体験を通じて得た、一つの強い

信念がある。真の学びの効果は「学生自身が授業の前に何も準備せずには得られない」という結論である。この信念に基づいて、私の授業では、事前に必ずある程度の調べ物をしてもらうことが要求される。手ぶらで出席でき、教師の巧みな話術に身を任せて無事に終わる講義とは対照的なものであり、学生の評価は必ずしも高いものになるとは限らない。しかしこのような講義で、ものの見方、資料の調べ方、仲間(あるいは先輩)との議論や触れ合い、等について、目を開かされたという感想が毎年必ず寄せられる。

この様に「楽せず」学ぶという道を、大学での勉強の第一歩として身につける事によって得るものは、少なからずあるのではないかと思う。



現代社会論

02

人文学部 助教授
松井 克浩



「思いこみ」を超えて——「現代社会論」の試み

私たちは日ごろ、様々な「思いこみ」にとらわれています。たとえば、若者の人間関係は希薄化しているとか、女性は家事・育児をするのは当然だ、ニートは怠け者でフリーターは夢を追っている、少年犯罪は凶悪化している、「自分らしさ」はとても大切だ、などなど。でも、一見「あたりまえ」に見えるこれらの一つひとつについて、ていねいに考えていくと、これまで思っていたのとは全然違った姿が見えてきたりします。

この「現代社会論」という授業では、家族や地域、環境や犯罪、若者文化などといった現代社会の様々な領域を取りあげ、こうした問題を考えます。できるだけ具体的な資料やデータを材料にしなが、それを社会学という学問の方法で料理してみます。そうすることを

通じて、物事を多面的に、柔らかく考えていく力を身につけることが目的です。

この授業では、教員が一方向的に話すのではなく、受講生の皆さんにできるだけ参加してもらうことにしています。授業中に意見を聞いたり、コメントカードに質問や感想を書いてもらってそれを素材に話をしたりします。教室の中での双方向のやりとりから生まれる「ライブ感覚」が、とても大事だと考えているからです。

とりわけ伝えたいと思っていることは、私たちの一人ひとりと「社会」とのつながりです。私たちが抱える問題は、自分の能力や努力に由来する個人的なもののみなされる傾向にあり、社会全体との関わりが見えにくくなっています。他方で社会は、個人には手の届かない場所で動いているようにみなされがちです。私たちを取り巻く様々なつながりや仕組みが見えてくれば、一人ひとりがもっと楽に、自由に生きることができると思うのです。

この授業を通じて、少しでも視野が広がり、知るこの面白さに気づいてもらえれば、これ以上うれしいことはありません。



おすすめ講義 PICK UP

教育褒賞制度^(※)とは この制度は、教育改善に対する意識を高め、優れた授業方法を全学で共有化するために、専任が担当する全学共通科目を対象として、平成15年に導入された。選考の手順は、学生推薦と教員の自薦・他薦の募集、推薦に基づき候補者リストの作成、選考委員による候補者の授業観察と面談、その結果と授業関連資料をもとに最終候補者の絞り込みというものである。現在までに表彰された4科目に共通する特徴は、担当者の教育経験や鋭い教育的省察に裏付けられた学生観や教育観に基づき効果的な学習に努め成立させていること、学生の評価が高い大人数授業であることである。受賞者はその授業改善方法を学内外で公開し、教育改善への気運を高めることに貢献している。(平成18年度改称・改正予定)

企業法 I 03



大学院実務法学研究科 助教授
山田 剛志

大学での講義、特に教養講義では、専門外の学生が会社法を学ぶことになる。昨年は全部で9学部の学生が私の講義を聴いた。もちろん積極的に会社法(企業法)の講義を受けたいと思って来る学生もいれば、楽に単位を取りたい一心で来る学生も残念ながら、いる。最も困るのは、1度も出席せず、厳しいという評判も知らずに試験だけ受ける学生である。その様な中で緊張感を持たせながら、楽しく講義を進めるのはかなり困難なことである。つまり大教室の講義では、上記のような種々の目的を持った学生をいかに満足させるか、我々教員の腕の見せ所である。

一方で学生の側にも大学の講義に対する不満は多い。具体的には、学生の大学での大教室における講義に対する不満は、次の通りである。

- 1) 教員は話をするロボットのごとく、一方的に授業をしている
- 2) 学生も受動的な態度であり、私語などの行為が目立つ
- 3) 内容が身近でなく、つまらない
- 4) 授業に教員の熱意を感じない。教員は研究のことに考えていないのではないか

私の講義に限らず大学教員は、まさにこのような声との戦いであろう。そこで私は以下のようにして、毎回学生にチャレンジしている(笑)。

①授業方法に関連して、特に意識して実施している改善点の概要。

1. 予習のしやすさ(予め予習の頁を指定)

2. 復習・勉強の仕方
 3. 具体的な会社のイメージを持たせる(ライブドア事件などを説明する)
- ②授業改善を行うに至った経緯と目的。どのような認識に立って改善を行ったのか。
1. 学生に会社というものをいかにしてイメージさせるか。法律学の特徴をいかに理解させるか。
 2. 内容的にも、十分満足させられるような講義をすること。法律のおもしろさを理解させること。奇をてらわない。内容はオーソドックスだがレベルを下げない。
 3. やり方の工夫…穴埋め式レジュメ、教科書の指摘、図の多様。プリントの利用
一回一講座制。問題演習の時間を設ける。
 4. 一本調子にならない。手を挙げさせ、意見を聞く。
1回は息抜き。

また学生の中にも様々な学生があり、全て同じ講義が希望とは限らない。しかし最低限度多くの学生のニーズに応え、方法及び方針を提示すれば、新潟大学の学生は半数以上はほとんど出席し、かつ最後まで話を聞いてくれる。また全てではないが、目があった学生に質問をすると、たいいてい自分の意見を述べてくれる。私の講義では、学部を問わず、最後まで熱意を持った学生の期待に沿うべく努力をしている。会社法に興味を持つ学生の聴講を期待する。

新潟発『食べる』 04



大学院医歯学総合研究科 教授
野田 忠

いっしょに『食べる』を考えよう

『食べる』という言葉から何を連想しますか。美味しいもの、好きな食べ物を思い浮かべた人が多いと思います。「食べる」は人間の基本的な行動ですが、本能的なものであるため、知られていない部分が少なく

ありません。「食べる」何気なく行っているこの動作は、母親のお腹の中にいる胎児の時代から始まります。生れてからおっぱいを飲み、しだいに食べることを覚え、人生80年の時代、長い長い食人生が続きます。

この<新潟発『食べる』>は、--生涯いかに楽しく健康に食べて行くか、学生自身が考えることを目標に開講しました。

食べるには口周囲の筋肉・骨など、さまざまなものが関与していますが、「食べる」のメカニズムをブディングの食べ方やビールの味わい方を通して考えてゆきます。また、老化とともに変化してゆく「食べる」を入れ歯の話などを含めて考えます。

新潟は広い肥沃な平野があり、海の幸の宝庫である日本海に接していることから、食に恵まれた立地条件があり、米・酒などとともにさまざまな加工食品を送り出しています。

<新潟発『食べる』>では、新潟が発信している『食べる』を総合的にとらえ、歯学部だけではなく、農学部、教育人間科学部などと連携し、さらに流通や酒造、新潟食の陣の人たちを巻き込んで、新潟の地で大学生活を送る人たちに、新潟の食と、それを食べることの楽しみを、食材を使った講義や実習で伝えます。



『食べる』の実習

四季の健康保健管理

保健管理センター 七里佳代

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。新潟大学には「保健管理センター」があり、みなさんを心身両面からサポートしています。私はこれから新潟大学でのキャンパス・ライフにおける健康保健管理の留意点についてガイドしてみたいと思います。

桜の花も満開を過ぎて、5月の連休が終わる頃になると、新しい生活にも慣れてくる方が大多数ですが、中には「体調がすぐれない」「やる気が出ない」等の不応を起こす方が見受けられます。新しい環境に慣れようと頑張った後には、どんな人でも疲れが出やすくなっていますので、十分に休養を取ることを心がけてください。これが「五月病」の予防にもなります。

また、入学当初には、新歓コンパが多数催されますが、ここで気を付けてほしいのは「アルコール・ハラスメント」です。お酒との正しく楽しい付き合い方を身につけるには、先輩達の配慮が非常に大切です。アル・ハラを防ぐためには飲酒を無理強いしたり、酔っからむ行為などがおこなわれないよう、幹事さんは十分に気を配ってください。

やがて「梅雨」がやって来ます。雨が続いて蒸し暑くなり、さらに試験も近づいて来ると気分のすぐれない方が続出します。この時期は身体的にも清潔を保つなどして、出来るだけ気分良く過ごす心がけが大切です。前期試験の無事終了にもつながるでしょう。そして楽しい夏休みを満喫してリフレッシュをはかってください。

さて、後期の始まりは10月、そして11月も後半になると、新潟では特有の曇天が続き、みぞれが雪に変わり、強風が吹き荒れます。南国から来られた方々からは「空を見てだけで気分がふさぐ」という声を聞くことも多いのです。前年までと環境が大きく変わった方は注意なさってください。

保健管理センターでは健康相談をおこなっていますので、心身に不調を感じた時には早めに来所してください。そして来春には再び、新入生のみなさん全員が2年生の新学期を無事に迎えられることを心から願っております。



Good Luck!

第47回黎明祭

2006
4・22(土)
10:00~17:00

第47回黎明祭について ～新入生の皆さんへ～

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

大学という新たなるフィールドに、皆さん様々思うところがあるでしょう。しかし、皆さんが戸惑うことなく大学生生活を始められることを、私たちは心より願っています。

さて、大学というところはこれまでとは比べ物にならないくらい、皆さんの世界が広がる場となります。物理的な行動範囲はもちろん、自分の視野や人間関係が格段に広がり、「自分の時間」がこれまでより増え、新しい自分を発見するよい契機となるでしょう。勉強以外のことに打ち込んでみるのもよいことです。

特に人間関係は、「交友関係」という言葉では還元できないほど多様な形をとっていきます。「友達」や「先輩」だけでなく、「同じ夢を志す仲間」や今まで接する機会がなかった人との出会いが増えます。接する人たちの年代や職種は多岐に渡り、自分が今まで知らなかった分野の人と出会う機会も増えます。出会いが出会いを呼び、より多面的で複雑な人間関係が形成されます。それは自分を目標へと近づける要因になるかもしれないし、時には自分が想像もしなかった分野での新しい才能を発見する要因にもなったりします。

そのためにはまず、臆することなく様々な人、分野、コミュニティに参加してみてください。それはきっと、あなたの人生を劇的に変えることでしょう。

新潟大学では年間を通してさまざまな行事が行われ、4月22日(土)に開催される第47回黎明祭はもっとも大きなイベントのひとつです。それぞれの部活やサークルが、どのような活動をしているのかを知るよい機会です。そのほかにもゲスト出演や、とん汁の無料サービスなどさまざまな催し物があります。ぜひ黎明祭に行ってみてください。多くの皆さんの参加をお待ちしています!

黎明祭実行委員会委員長
人文学部2年 山田 創

第47回黎明祭プログラム予定

プログラム	会場
音楽系サークルライブ	第1食堂前広場特設ステージ(雨天の場合、大学会館大集会室)
豚汁無料サービス	第1食堂前広場
ゲストによるステージショー	第1食堂前広場特設ステージ(雨天の場合、総合教育研究棟E-260)
部活動紹介ブース	総合教育研究棟
サークルアピールタイム	総合教育研究棟E-260



音楽系サークルの演奏が構内に響きわたる。



豚汁無料サービスには長蛇の列が。

キャンパス周辺 MAP

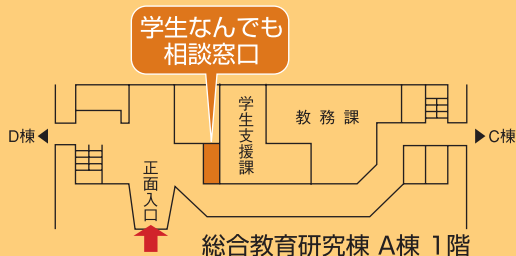
五十嵐キャンパス & 旭町キャンパス



- 凡例
- コンビニ
 - 居酒屋
 - レジャー
 - 医療機関
 - 銀行
 - 食事&喫茶
 - パン・弁当屋etc
 - その他のお店
 - 郵便局

学生なんでも 相談窓口

学生のみなさんの学業、進路、人生、対人関係、家庭、経済等の問題で悩みや困りごとについての相談に応じられるように「学生なんでも相談窓口」を設置しています。ひとりで悩まず気軽に相談に来てください。相談は、電話、電子メールあるいは直接窓口で受け付けます。



受付時間 8:30~17:15

電話 025-262-7524

メールアドレス gakumado@adm.niigata-u.ac.jp

場所 総合教育研究棟 A棟 1階 学務部学生支援課内

学外の相談機関等



犯罪被害等に関する相談

- 警察本部けいさつ相談室
TEL. 025-283-9110 (警察本部)
警察業務に関する相談、要望、苦情など全般
- 犯罪被害者対策室
TEL. 025-285-0110 (警察本部)
犯罪被害に関する相談全般
- 女性被害110番
TEL. 025-281-7890 (警察本部)
性犯罪の被害に関する相談



悪質商法による被害の相談

- 新潟県消費生活センター
TEL. 025-285-4196
- 新潟市消費生活センター
TEL. 025-228-1000



カードに関する相談

- 日本クレジットカード協会
TEL. 03-5563-6526



心の健康に関する相談

- 新潟県精神保健福祉センター
TEL. 025-280-0113
- 新潟いのちの電話(心配事相談)
TEL. 025-229-4343



人権相談、性別による差別的取扱い等に関する相談

- 新潟地方法務局人権擁護課
TEL. 025-222-1564
- 新潟県男女平等推進相談室
TEL. 025-285-6605



交通事故に起因する諸問題に関する相談

- 新潟県交通事故相談所
TEL. 025-285-5511
- 市民相談室
TEL. 025-226-2065



市民生活における悩みやトラブルに関する相談

- 市民相談室
TEL. 025-226-2065



休日診療

- 新潟市医師会休日急患診療センター
TEL. 025-231-4131
- 新潟県歯科医師会休日歯科診療センター
TEL. 025-283-3030



北陸ガス
TEL. 025-228-2131



東北電力
TEL. 025-223-3141



新潟市水道局
TEL. 025-266-9311

広報委員会第1部会

部長・編集委員長

寺田真人(医歯学総合病院)
TEL 227-2975 tera@dent.

委員

石坂妙子(教育人間科学部)
TEL 262-7116 ishizaka@ed.

岡田昌浩(法学部)
TEL 262-6545 okada@jura.

高山 誠(経済学部)
TEL 262-6557 takayama@econ.

竹内照雄(理学部)
TEL 262-6346 takeuchi@math.sc.

牛木辰男(医学部医学科)
TEL 227-2058 t-ushiki@med.

川瀬知之(歯学部)
TEL 227-2927 kawase@dent.

谷口正之(工学部)
TEL 262-6716 mtanig@eng.

田山英治(大学院自然科学研究科)
TEL 262-7741 tayama@gs.

横山峯介(脳研究所)
TEL 227-2163 myoko@bri.

岩本義男(学務部長)
TEL 262-6080 iwamotoy@adm.

事務局(学務部)
TEL 262-7337 FAX 262-7516

E-mailのアドレスは、
niigata-u.ac.jpの表記を省略しています。

■新潟大学ホームページ■

<http://www.niigata-u.ac.jp/>

【新大広報 Back Number】 http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/pr/c_forum/

新大広報のバックナンバーは上記のURLから見るができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。



新潟大学広報誌

Niigata University
Campus Magazine

新大広報



2006 春号

編集・発行／新潟大学広報委員会・新潟大学学務部
印刷／第一印刷所